

考查項目	細別	対象	該当	a	b	c	d	e					
				優れている	良好である	適切である	やや不適切である	不適切である					
1. 施工体制	I 施工体制一般	☐	☐	作業の分担の範囲が、下請業者を含め、書面に明確に記載されている。 品質管理体制が、書面に適切に記載されている。 安全管理体制が、書面に適切に記載されている。 現場の施工体制(品質管理、安全管理を含む)が、書面と一致している。 工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施工している。 建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。 元請業者が、下請業者の施工結果を十分に検査している。 現場における施工体制に対し、本支店等による十分な支援体制を整え実施している。 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 CORINSの登録は、監督員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われている。 工事標識などを適切に設置している。 その他 理由: (減点)該当すればd評価とする。 ☐ 施工体制一般に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 ☐ 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。									
		☐	☐										
		☐	☐										
		☐	☐										
		☐	☐										
		☐	☐										
		☐	☐										
		☐	☐										
		☐	☐										
		☐	☐										
評価	該当項目が90%以上.....a 該当項目が80%以上90%未満..... b 該当項目が60%以上80%未満..... c 該当項目が60%未満..... d								① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)＝(該当評価項目数／対象評価項目数)×100				
細別	対象	該当	a						b	c	d	e	
			配置技術者として優れている						配置技術者として良好である	配置技術者として適切である	配置技術者としてやや不適切である	配置技術者として不適切である	
	II (現場配置技術者等)	☐	☐	現場代理人として、工事全体の把握ができています。 現場代理人として、監督職員への報告、協議等を書面で行っている。 契約書、設計図書等を理解し、現場に反映して工事を行っている。 工事請負契約書第18条(条件変更等)第1項(以下、「契約書第18条」という。)に基づく設計図書の照査を行っている。 書類及び資料が適切に整理されている。 作業環境、気象、地質条件等の把握及び対応に努めている。 工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。 作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。 主任(監理)技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。 施工体制、施工状況を把握し、下請け、部下等をよく指導している。 施工等に伴う提案または工夫をもって工事を進めている。 「施工プロセス」チェックリストのうち、配置技術者(現場代理人等)について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されてい その他 理由: (減点)該当すればd評価とする。 ☐ 配置技術者に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 ☐ 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。									
		☐	☐										
		☐	☐										
		☐	☐										
		☐	☐										
		☐	☐										
		☐	☐										
		☐	☐										
		☐	☐										
		☐	☐										
評価	該当項目が90%以上.....a 該当項目が80%以上90%未満..... b 該当項目が60%以上80%未満..... c 該当項目が60%未満..... d								① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)＝(該当評価項目数／対象評価項目数)×100				

考査項目	細別	対象	該当	a	b	c	d	e													
				優れている	良好である	適切である	やや不適切である	不適切である													
2. 施工状況	Ⅰ 施工管理	☐	☐	契約書第18条に基づく設計図書の照査結果について、協議を行っている。 施工計画書が、工事着手前(計画内容に変更が生じた場合を含む)に提出されている。 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっている。 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載がある。 施工計画書に基づき、日常の出来形・品質の管理を適切に行っている。 施工図作成にあたり、関連工事と遅滞なく、調整が十分に図られている。 工事打合せ書等の工事記録の整備が、適時に行われている。 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。 一工程の施工の検査・確認の報告が、適時に行われている。 現場内での整理整頓が、日常的に行われている。 使用する設備機材(以下「機材」という。)の調達の計画及び搬入後の管理が適切である。 社内検査が計画的に行われている。 独自のチェックリスト等の管理基準により、管理されている。 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 建設廃棄物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取り組みが、適切に行われている。 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 その他 理由: (減点)該当すればd評価とする。 ☐ 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 ☐ 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。																	
		評価																			
		該当項目が90%以上……a 該当項目が80%以上90%未満…… b 該当項目が60%以上80%未満…… c 該当項目が60%未満…… d							① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 評価値(%)=(該当評価項目数／対象評価項目数)×100 ③ 評価対象項目が2項目以下の場合はC評価とする。												
		細別	対象						該当	a	b	c	d	e							
		Ⅱ 工程管理	☐						☐	実施工程表が工事着手前に提出され、関連工事との調整も適切に行っている。 現場での工程管理を日常的に把握している。 工程のフォローアップを実施し、請負者の責により関連工事及び入居者等に対し、影響を及ぼす工程の遅れがない。 現場または施工条件の変更への対応が積極的で、処理が早い。 工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。 請負者の責による夜間や休日の作業がない。 休日・代休の確保を行っている。 近隣住民等との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。 「施工プロセス」チェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 その他 理由: (減点)該当すればd評価とする。 ☐ 工程管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 ☐ 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。											
			評価																		
			該当項目が90%以上……a 該当項目が80%以上90%未満…… b 該当項目が60%以上80%未満…… c 該当項目が60%未満…… d						① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=(該当評価項目数／対象評価項目数)×100												

考査項目	細別	対象	該当	a	b	c	d	e	
				優れている	良好である	適切である	やや不適切である	不適切である	
2. 施工状況	Ⅲ 安全対策	☐	☐	災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回／月以上活動し、記録が整備されている。 店社パトロールを1回／月以上実施し、記録が整備されている。 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示している。 安全教育・安全訓練等を適時適切に実施し、記録が整備されている。 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され、記録が整備されている。 現場の各工程において適時適切に、安全管理の措置をしている。 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 仮設工事において、設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。 工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。 過積載防止に十分に取り組んでいる。 「施工プロセス」チェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 その他 理由:					
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
	評価				(減点)該当すればc評価とする。 ☐ 安全対策に関して、法令遵守の措置内容に該当する場合。 (減点)該当すればd評価とする。 ☐ 安全対策に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 ☐ 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。				
					該当項目が90%以上・……a 該当項目が80%以上90%未満・…… b 該当項目が60%以上80%未満・…… c 該当項目が60%未満・…… d				
					① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)＝(該当評価項目数／対象評価項目数)×100				
		Ⅳ 対外関係	☐	☐	工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、トラブルの発生がない。 工事施工にあたり、近隣住民等と適切に協議及び調整を行っている。 引渡し時に関係者に対し、保守管理(取扱説明を含む)について適切な説明を行っている。 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分りやすく周知している。 近隣住民対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、以後のトラブルがない。 現場のイメージアップに取り組んでいる。 「施工プロセス」チェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 その他 理由:				
			☐	☐					
			☐	☐					
			☐	☐					
			☐	☐					
			☐	☐					
☐			☐						
☐			☐						
☐			☐						
☐			☐						
評価					(減点)該当すればd評価とする。 ☐ 対外関係に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 ☐ 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。				
					該当項目が90%以上・……a 該当項目が80%以上90%未満・…… b 該当項目が60%以上80%未満・…… c 該当項目が60%未満・…… d				
					① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)＝(該当評価項目数／対象評価項目数)×100				

